

2020年度  
『多言語商品情報プロジェクト』の報告

2021年7月9日  
製・配・販連携協議会  
(経済産業省支援)  
多言語商品情報プロジェクト

# 目次

---

はじめに

1 . 2020年度までの実施概要

(1) これまでの経緯

(2) プロモーション活動

(3) 年度末の概況

2 . これまでの利用状況分析

(1) アプリのダウンロード状況

(2) アクセス状況

(3) ヒットアクセス状況

3 . これまでの総括

# はじめに

---

## ■ 背景：

- 2020年は、新型コロナウイルスの影響で、訪日外客数は激減しましたが、2019年には3,188万人に達し、「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2030年に6,000万人の目標が設定されています。2020年の目標4,000万人は、未達成となりましたが、今後の訪日外客に対する対応の重要性に変わりはありません。
- 訪日外客の旅行消費額に占める買い物代の割合は、約34.7%\*を占め、訪日外客の増加に伴って、買物消費額も 大幅な増加が見込まれます。ところが、訪日外客が日本でショッピングをする際には、言語の問題（説明・価格表示）で不満や心配を感じるケースが多くなっています。

\*：「訪日外国人の消費動向 2019年確報値」国土交通省 観光庁 より

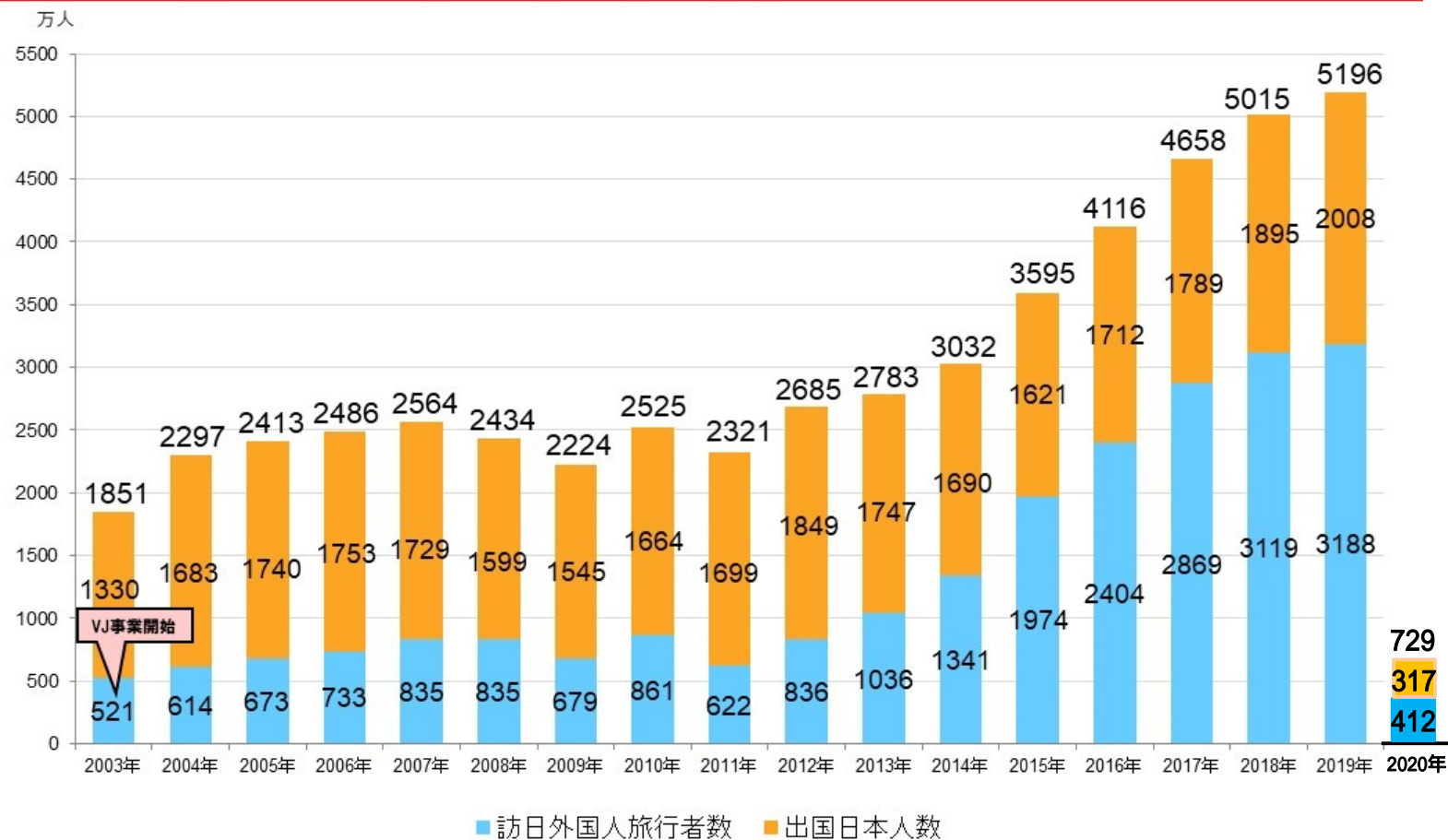
## ■ 目的：

- こうした状況に対し、訪日外客向けの商品情報提供による販売促進、メーカー発信の正確な商品情報の収集 / 提供サイクルの確立をめざしております。
- 東京オリンピック / パラリンピック、大阪・関西万博などへの訪日外客の買い物支援に向けたオールジャパンによる多言語化の取組みの一環としています。

## 参考：訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移

- 2020年の訪日外客数は、コロナ禍のため、前年比87.1%減の412万人でした。  
(特に、4月～7月は、前年同月比99.9%減でした。)

### 訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移



出典：日本政府観光局(JNTO)

# 1 . 2020年度までの実施概要

## ( 1 ) これまでの経緯

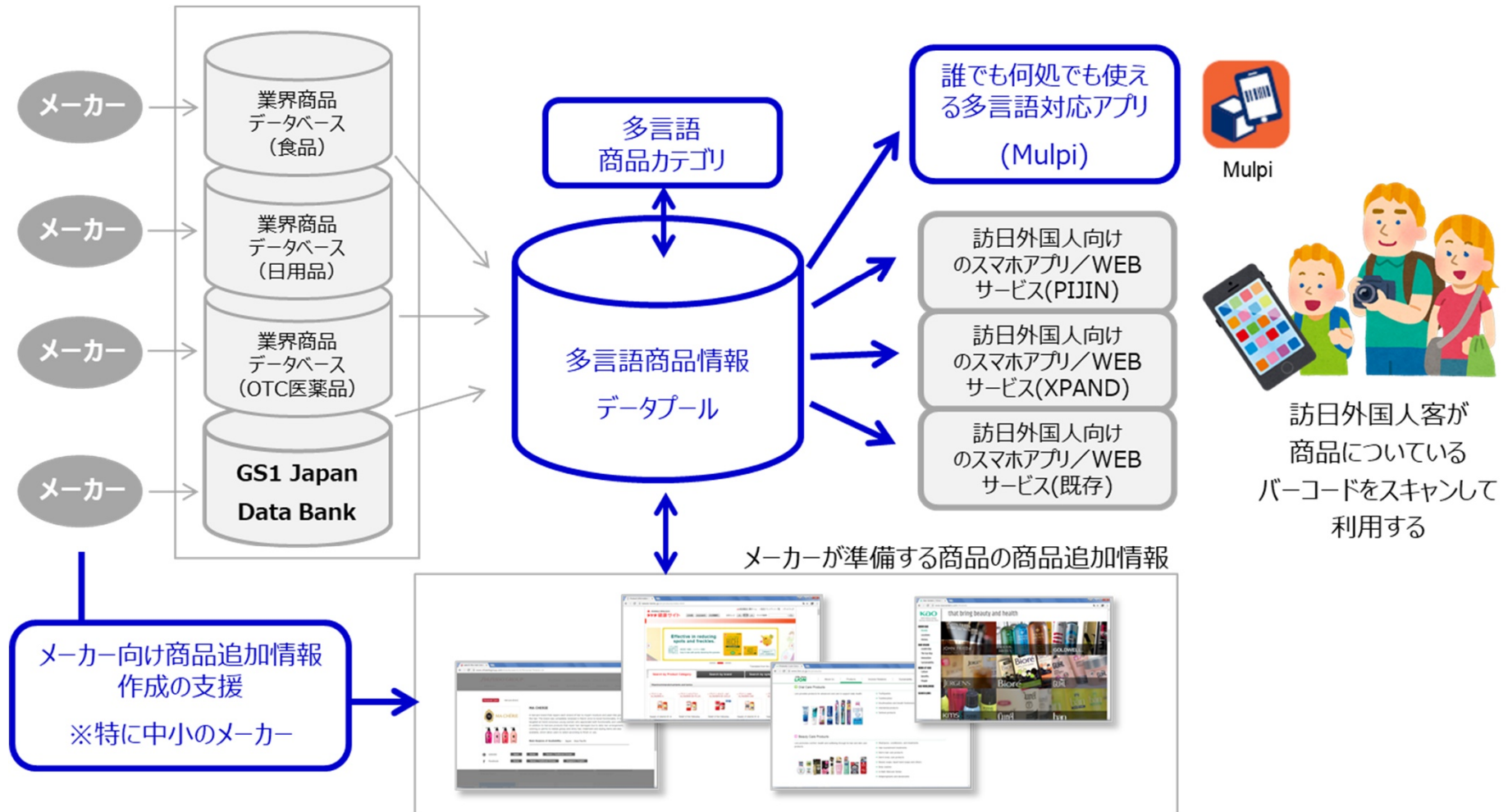
---

- 2015年度：商品情報多言語ワーキンググループ
  - 基本的な考え方の整理
- 2016年度：商品情報多言語フィジビリティ・スタディ・プロジェクト
  - 実証システム開発、店頭実証実験
- 2017年度：多言語商品情報プロジェクト
  - 新たに実運用システム開発、アプリ (Mulpi) 実運用開始
  - iOS版はApp Storeで、Android版はGoogle Playストアで無料公開
  - 商標登録 (商標1：Mulpi (標準文字)、商標2：アイコン図形)
- 2018年度、2019年度：多言語商品情報プロジェクト
  - 各種メディア / イベントでのプロモーション (別紙参照)
  - PIJIN：QR Translator®、XPAND：XPAND.CODES Reader JSと提携
  - 多言語商品情報ページ作成支援開始
  - KOLプロモーション等の普及推進
  - GS1 Japan Data Bankとの連携
- 2020年度 多言語商品情報プロジェクト
  - コロナ禍で、訪日外客数が激減
- 2021年度 多言語商品情報プロジェクト (東京オリンピック)

# 参考：多言語商品情報プロジェクトの全体概要

## ■ 訪日外国人客向けの多言語での商品情報提供

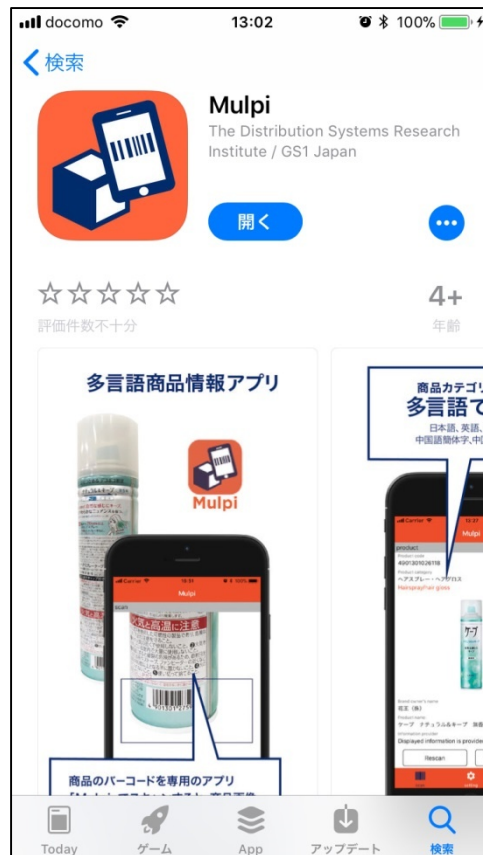
(信頼できるベンダーに商品情報を提供したい) 商品情報を適切に取扱できると認定した業者を「プロジェクト認定アプリベンダー」とし、それ以外のベンダーへの多言語DPからの情報提供はいたしません。



# 参考：アプリのダウンロード



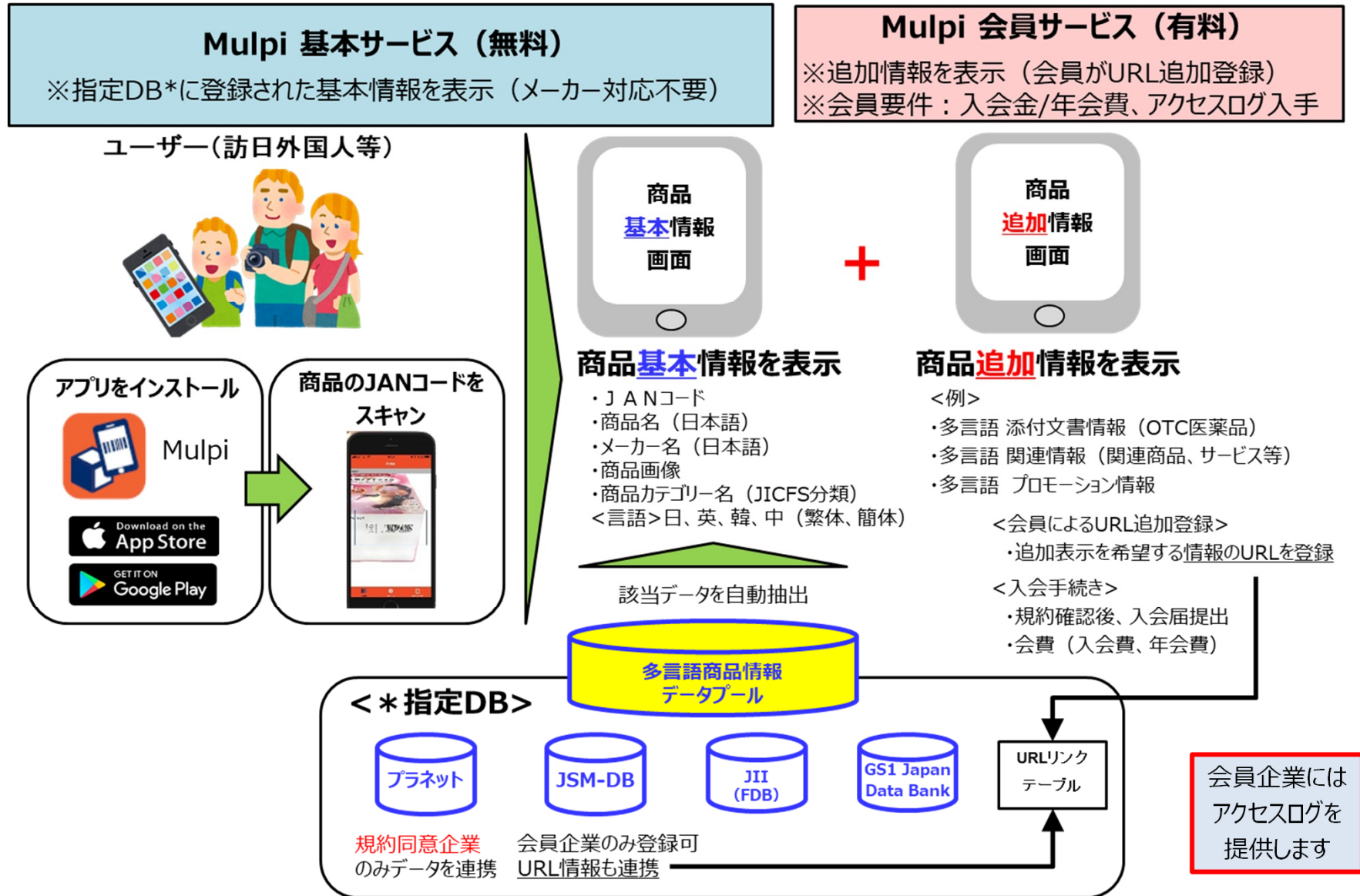
iOS版はApp Storeで、Mulpiと検索！



Android版はGoogle Playストアで、Mulpiと検索！



# 参考：会員サービス



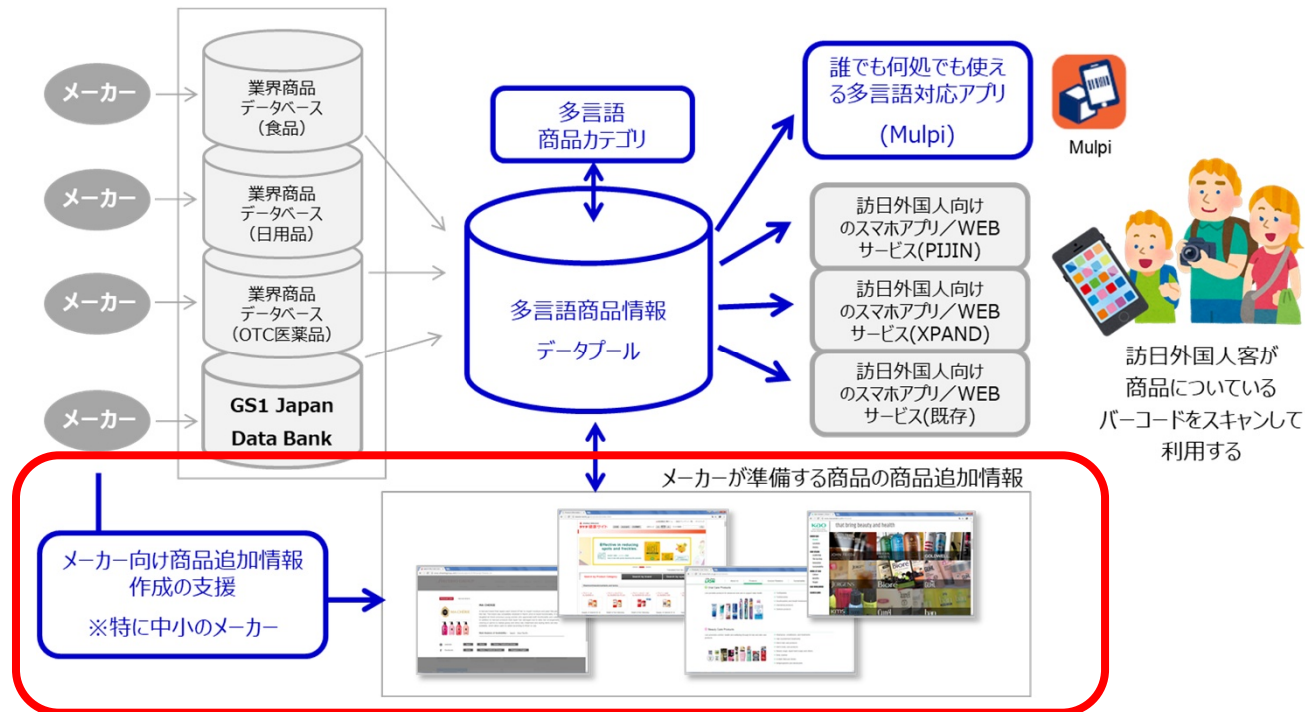


# 参考：検索画面の例



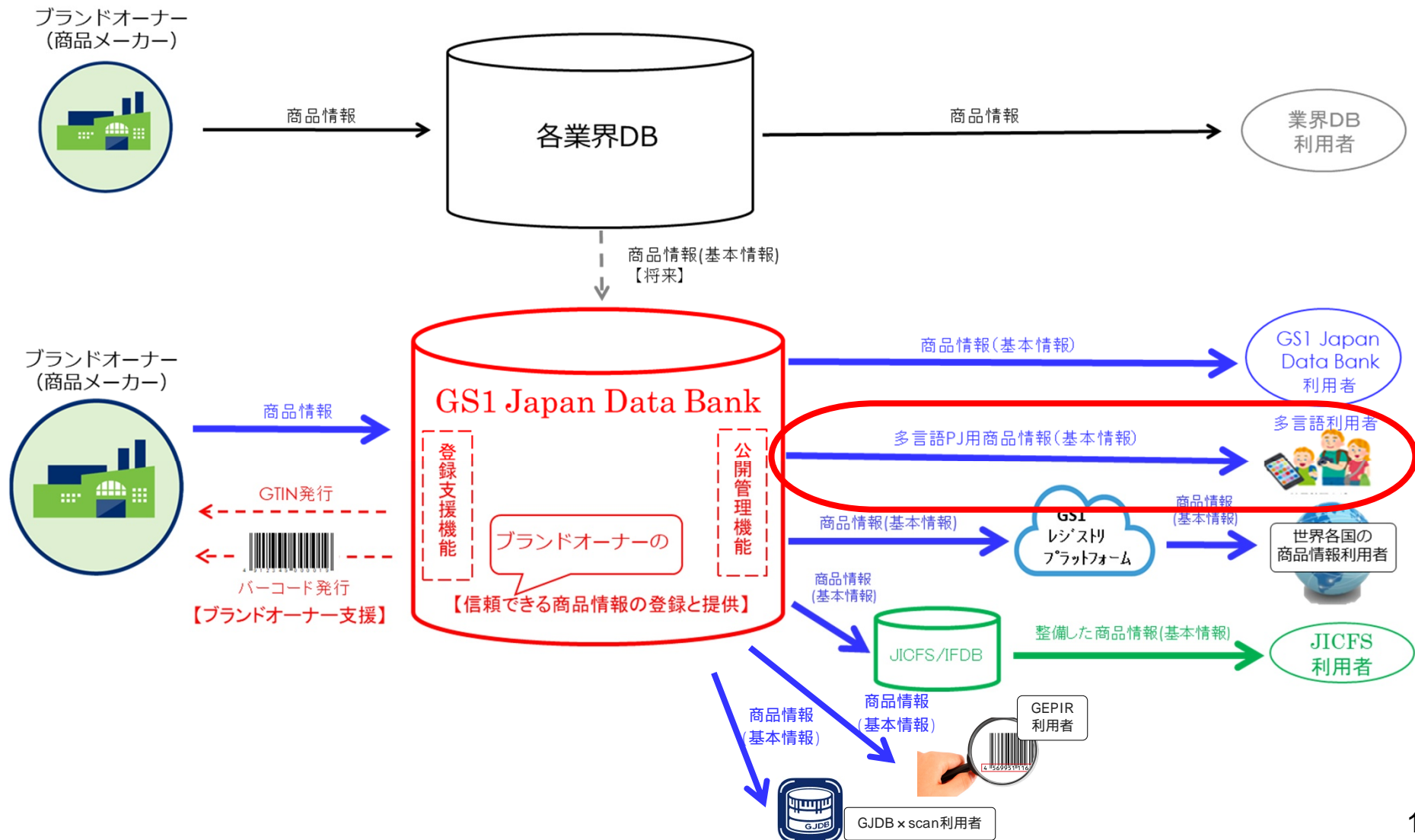
## 参考：多言語商品情報ページ作成支援

- 多言語商品情報提供サービス（Mulpi）への入会を前提に  
多言語商品情報提供サービス（Mulpi）にリンクされる多言語商品の追加情報であるホームページ作成につき、以下の通り支援。（詳細は、「多言語商品情報ページ作成支援のご案内」参照）
  - － 支援策1：翻訳企業の紹介
  - － 支援策2：ひな型HTMLファイルの提供
  - － 支援策3：ホームページ・スペースの貸与



# 参考：GS1 Japan Data Bankとの連携

- GS1 Japan Data Bankと連動して、基本商品情報の充実を目指します。  
(2019年10月より運用開始)



# 1 . 2020年度までの実施概要

## (2) プロモーション活動

---

### < プレスリリース、関連記事投稿、取材協力 >

- 2016年7月20日：日刊工業新聞「多言語で商品情報提供」
- 2017年3月28日：プレスリリース「訪日・在日外国人向け多言語での商品情報提供」
- 2017年3月28日：経産省よりニュースリリース
- 2017年9月：流開センターニュース「多言語商品情報プロジェクトの本格運用に向けて」
- 2018年3月：流開センターニュース「多言語商品情報提供サービスの運用開始」
- 2018年5月28日：プレスリリース「OTC 医薬品、日用品、加工食品メーカーなどと協力して訪日外国人向けに多言語でメーカー発信の正確な商品情報提供をスタート」
- 2018年5月18日：日経新聞夕刊1面記事「訪日客 スマホで簡単検索」
- 2018年5月30日：食品新聞「商品情報をスマホで」
- 2018年6月1日：日本食糧新聞「商品情報を多言語で」
- 2018年7月15日：流通&コンピューター「多言語商品情報提供サービスを開始」
- 2018年7月：PLANET vanvan 第119号 特集記事
- 2018年8月：流通&コンピューター 8月15日号
- 2018年11月：流通とシステム No.175
- 2019年2月：包装技術 2月号
- 2019年11月：流通とシステム No.177「OTC医薬品と多言語製品情報」
- 2020年6月：GS1 Japan Review No.178「ゲストの多様化と小売業の多言語対応」

# 1 . 2020年度までの実施概要

## (2) プロモーション活動

---

### <メール・ニュース:多言語商品情報提供サービス・ニュース>

- 2017年10月 4日 : <創刊号>
- 2018年2月15日 : <第2号:説明会開催案内>
- 2018年2月27日 : <第3号:アプリ公開開始>
- 2018年3月16日 : <第4号:説明会(大阪)案内>
- 2018年5月28日 : <第5号:プレスリリース>
- 2018年7月11日 : <第6号:総会報告>
- 2018年7月30日 : <第7号:連携報告>
- 2018年12月25日 : <第8号:小売PT活動報告>
- 2019年8月22日 : <第9号:多言語商品情報ページ作成支援開始>
- 2019年9月27日 : <第10号:中国人向けKOLマーケティング>
- 2020年11月18日 : <第11号:登録商品数が約10万増加>
- 2020年12月3日 : <増刊号:「多言語対応推進フォーラム」の開催>
- 2021年1月20日 : <第12号:「小売業の多言語対応  
ガイドライン解説動画」の公開!!>

# 1 . 2020年度までの実施概要

## (2) プロモーション活動

---

### < 各種会合説明会での紹介 >

- 2017年6月16日: 日本歯磨工業会・専務 / 事務局長に紹介 (会員企業にメール案内)
- 2017年6月19日: 日本化粧品工業連合会・常務に紹介 (会員企業にメール案内)
- 2017年6月21日: 全日本菓子協会・拡大流通問題対策委員会で紹介
- 2017年7月12日: 日本家庭用洗剤工業会・部会で紹介
- 2017年7月13日: 日本チェーンドラッグストア協会・専務に紹介
- 2017年7月14日: 日本衛生材料工業連合会・専務に紹介 (会員企業にメール案内)
- 2017年7月20日: 日本歯磨工業会・委員会で紹介
- 2017年7月24日: 日本OTC医薬品協会・理事会で紹介
- 2017年7月26日: 日本缶詰びん詰レトルト食品協会・会合にて紹介
- 2017年8月 2日: 健康食品産業協議会・理事会で紹介
- 2017年8月24日: 全国清涼飲料工業会で紹介
- 2017年8月30日: 日本家庭薬協会に紹介
- 2017年9月1日～2日: 日本ヘルスケア協会年次大会・ポスターセッションにて紹介
- 2017年10月23日: JSM - DB 製品情報の多言語登録説明会 (東京)
- 2017年10月31日: JSM - DB 製品情報の多言語登録説明会 (大阪)

# 1 . 2020年度までの実施概要

## (2) プロモーション活動

---

### < 各種会合説明会での紹介 >

- 2017年12月14日:ドラッグストアMD研究会:多言語商品情報プロジェクト紹介
- 2018年1月26日:プラネット商品データベースサービス趣旨説明会(東京)
- 2018年1月30日:プラネット商品データベースサービス趣旨説明会(大阪)
- 2018年1月30日:多言語対応ICT化推進フォーラム
- 2018年2月9日:全卸連、流通懇談会で紹介
- 2018年3月8日:リテールテック・セミナー:流通システム標準化の最新動向
- 2018年3月6日~9日:リテールテック:パネル展示
- 2018年3月16日~18日:JAPANドラッグストアショー:パネル展示
- 2018年4月11日:スポーツ用品情報システム研究会
- 2018年3月7日:多言語商品情報プロジェクト説明会(東京:3回)
- 2018年4月11日:多言語商品情報プロジェクト説明会(大阪:1回)
- 2019年2月19日:GS1 Global Forum(デモ&紹介)
- 2019年3月5日~8日:リテールテックJAPAN2019(セミナーで報告、パネル展示&チラシ配布)
- 2019年3月15日~17日:第19回JAPANドラッグストアショー(パネル展示)
- 2019年5月27日:JSM-DBC年次報告会(東京:多言語商品情報プロジェクトの紹介)

# 1 . 2020年度までの実施概要

## (2) プロモーション活動

---

### < 各種会合説明会での紹介 >

- 2019年6月11日: JSM-DBC年次報告会 (大阪: 多言語商品情報プロジェクトの紹介)
- 2019年10月24日-25日: インバウンド・観光ビジネス総合展2019 (Mulpiチラシ配布)
- 2019年12月24日: 多言語対応・ICT化推進フォーラム (Mulpi活動報告)
- 2020年2月12日-14日: スーパーマーケット・トレードフェア2020 (Mulpiチラシ配布)
- 2021年3月9日-12日: リテールテックJAPAN2021 (Mulpiパネル & チラシ配布予定)

### < KOLプロモーション >

- 2019年9月26日: 訪日50回以上の在中日本観光プロモーションのベテラン旅行系KOL (Weiboでのフォロワー: 約221万人) によるMulpiの紹介

### < 外国人へのMulpi 利用促進に関する調査 >

- 2019年1月26日 ~ 2月11日: 巣鴨萬盛堂薬局六地蔵店、分店の2店舗で、外国人の来店者に対し、アプリのインストール及び商品詳細情報を確認頂き、使用感や必要な機能についてアンケート実施。



# 参考：多言語対応協議会 小売プロジェクトチームと連携

## ■ 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会：

東京2020大会の開催に向け、円滑な移動と安心・快適に滞在できる環境を整備するため、表示・標識などの多言語対応を、国の関係行政機関、関係地方公共団体、民間団体及び企業などが相互に連携・協働して取り組むことを目的として2014年に設置されました。

## ■ 小売プロジェクトチーム：

小売における多言語対応の3つの領域（店頭表示、接客コミュニケーション、商品情報）での統一ルールの策定やツールづくりを行い、おもてなし向上に向けた接客対応強化を小売業界全体で進めてまいります。

商品情報領域のツールとして、多言語商品情報アプリ（Mulpi）が、紹介されています。

The image shows a screenshot of the 'Japan Shopping' website and information about the Mulpi app. The website header includes the logo and the text '小売業の多言語対応'. The main content area features a large illustration of a family shopping and text that reads: '2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会小売プロジェクトチーム 小売における多言語対応のルールやツールづくりを行い、おもてなし向上の取組を進めてまいります。' Below this, there is a section titled '小売における多言語対応支援ツール' with a link to '多言語対応ガイドライン'. To the right, there is a detailed description of the Mulpi app, its features, and usage instructions. The app is described as a tool for scanning barcodes to display product information in multiple languages. The usage instructions are as follows:

**多言語商品情報アプリ（Mulpi）とは**

- 製・配・販連携協議会・多言語商品情報プロジェクトが提供する訪日ゲスト向けアプリです。
- 商品基本情報の出典は、各業界データベースです。
- 商品詳細情報は、各商品メーカーのホームページです。
- 商品メーカー発信の正しい商品情報が提供されることが最大の特長です。

作成元：流通システム開発センター  
参考：流通システム開発センターの多言語化への取組  
<http://www.dsri.jp/forum/pro.html>

**使用方法**

- 商品のバーコードを専用のスマートフォンアプリMulpiでスキャン。メーカー名、商品名、商品画像を表示
- 商品カテゴリ情報を多言語で表示（英語、簡体字、繁体字、韓国語）
- メーカー発信の多言語商品情報がある場合は、詳細情報（商品の特長など）を表示

**使い方の動画**

多言語商品情報提供アプリ「Mulpi」を使って楽しく買い物を楽しみましょう。

## 参考：多言語対応協議会 小売プロジェクトチーム による紹介

### ■ 東京都作成のDVDでMulpiが紹介されています。

東京都作成のDVD「外国人旅行者の気持ちになって歩いてみよう！」で、「多言語商品情報提供サービス Mulpi」が、紹介されています。外国人の視点から見た東京の多言語対応の好事例を紹介した約30分の映像です。そのなかで、Mulpiについても紹介されています。

<https://tokyodouga.jp/pdtMBZJyd4s.html>

### ■ 「小売業の多言語対応ガイドライン」でMulpiが紹介されています。

本ガイドラインは、小売業に特化して多言語対応を取りまとめたものです。小売業全体で、よりスムーズで効率的な多言語対応を促進し、訪日ゲストによりよいおもてなしの提供を目指すものです。そのためのツールの1つとして、製・配・販連携協議会の多言語商品情報プロジェクトが提供する多言語商品情報のスマートフォン専用アプリケーション「Mulpi(マルピ)」が、本ガイドラインの「商品説明分野における多言語対応」の中で紹介されています。



小売業の多言語対応ガイドライン解説動画



<https://youtu.be/xUfgBBIOrpU>

# 1 . 2020年度までの実施概要

## ( 3 ) 年度末の概況

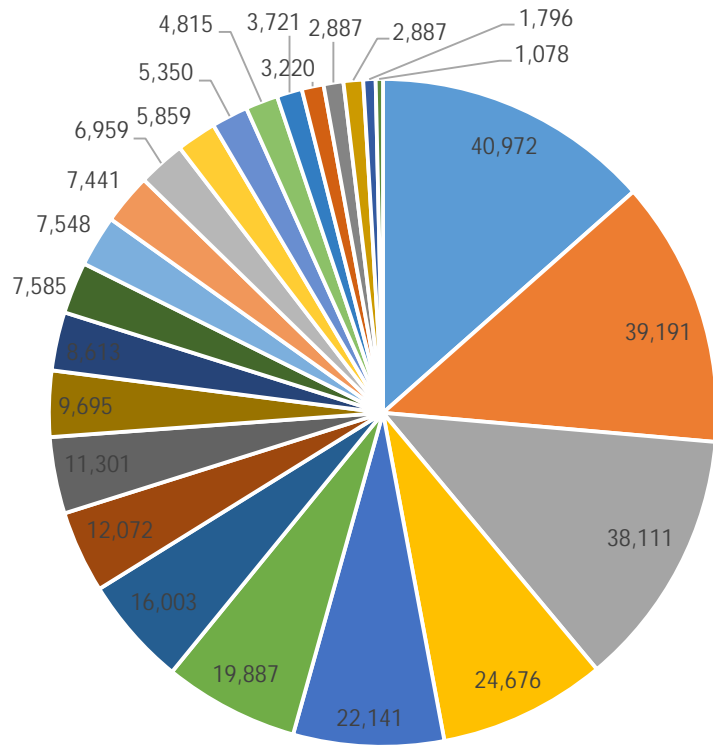
---

- 商品情報(2021年6月時点:参考分析結果は、次頁<参考>にて)
  - 商品基本情報:<企業数>1,561社(前年682社)  
<有効なアイテム数>1,575,566(前年:171,509)  
内、1社で携帯カバー約107万件の登録がありました。これを除いて、  
GJDBへの商品情報登録が進んだため前年比約2倍強となりました。
  - 商品追加(詳細)情報:<会員企業数>11社(前年:14社)  
<URL連携可能なアイテム数>2,956(前年:2,886)
  - 会員企業:(11社)ライオン、イーザイ、味の素、花王、サンスター、第一三共ヘルスケア、  
マツモトキヨシHD、ユニ・チャーム、大正製薬、大鵬薬品工業、佐藤製薬
  
- 活用状況(分析結果は、「3. 利用状況分析」にて)
  - ダウンロード数:累計2,406件(2018年2月~2021年5月までの累計)
  - アクセス数:累計22,293件(2018年2月~2021年5月までの累計)
  
- 外部提携状況
  - 株式会社PIJIN:QR Translator®
  - XPAND株式会社:XPAND.CODES Reader JS  
JANコードからQR Translator上の多言語ページにアクセスすることが可能になる。また、専用アプリ「Mulpi」と同じ商品情報データを専用アプリなしで情報取得できる環境が提供できるようになる。
  - Uni-Voice事業企画株式会社:Uni-Voice(視覚障害者向けアプリと連携予定)

# 参考：多言語商品情報のカテゴリー別内訳

## ■ 商品情報（2021年3月初め時点：Mulpiで検索可能な情報のみ）

カテゴリー別商品登録状況



- ペット用品
- 化粧品
- 飲料・酒類
- 菓子類
- D I Y 用品
- その他日用品
- 加工食品
- その他文化用品
- スポーツ用品
- 靴・履物
- その他食品
- 寝具・寝装品
- 日用雑貨
- 身の回り品
- O T C 医薬品類
- その他耐久消費財
- 文具・事務用品・情報文具
- 生鮮食品
- 衣料・衣服
- 家庭用品
- 玩具
- 車両用品
- 家電
- その他商品

カテゴリー	登録件数	前年登録件数	伸び率
ペット用品	40,972	35,036	117%
加工食品	39,191	30,964	127%
日用雑貨	38,111	25,177	151%
衣料・衣服	24,676	2,947	837%
化粧品	22,141	18,174	122%
その他文化用品	19,887	711	2797%
身の回り品	16,003	1,868	857%
家庭用品	12,072	5,631	214%
飲料・酒類	11,301	8,204	138%
スポーツ用品	9,695	989	980%
O T C 医薬品類	8,613	8,333	103%
玩具	7,585	460	1649%
菓子類	7,548	3,807	198%
靴・履物	7,441	2,047	364%
その他耐久消費財	6,959	192	3624%
車両用品	5,859	449	1305%
D I Y 用品	5,350	564	949%
その他食品	4,815	3,343	144%
文具・事務用品・情報文具	3,721	379	982%
家電	3,220	920	350%
その他日用品	2,887	692	417%
寝具・寝装品	2,887	125	2310%
生鮮食品	1,796	146	1230%
その他商品	1,078	308	350%
合計	303,808	151,466	201%

## 2. 利用状況分析

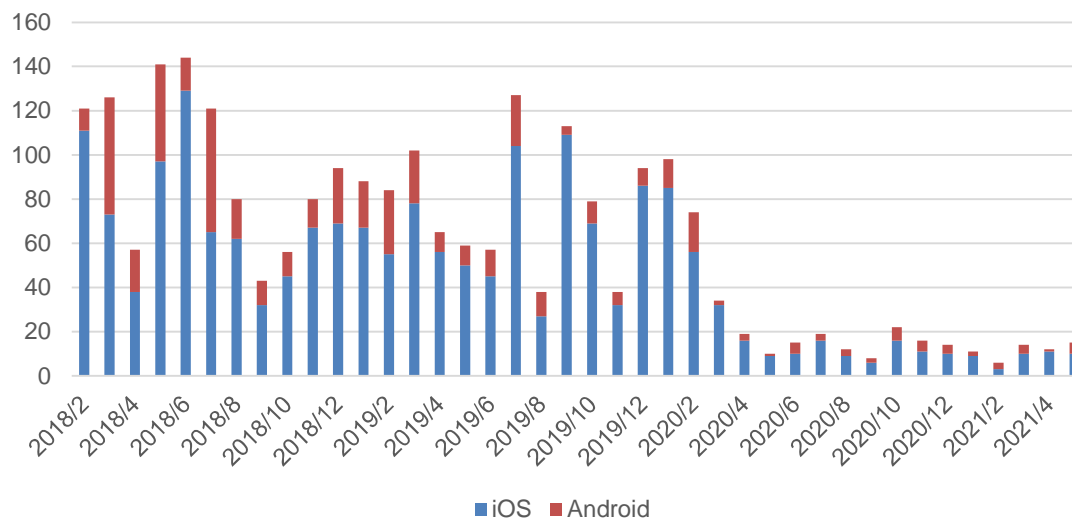
### (1) アプリのダウンロード状況 :

#### ■ 月別 / OS 別 (2018/2 ~ 2021/5)

– 2018年2月11日より累計で、2,406のダウンロードでした。

(iOS版 : 1885、Android版 : 521)

月別 / OS 別ダウンロード数



	2018 /2	2018 /3	2018 /4	2018 /5	2018 /6	2018 /7	2018 /8	2018 /9	2018 /10	2018 /11	2018 /12	2019 /1	2019 /2	2019 /3	2019 /4	2019 /5	2019 /6	2019 /7	2019 /8	2019 /9	2019 /10	2019 /11	2019 /12
iOS	111	73	38	97	129	65	62	32	45	67	69	67	55	78	56	50	45	104	27	109	69	32	86
Android	10	53	19	44	15	56	18	11	11	13	25	21	29	24	9	9	12	23	11	4	10	6	8

	2020 /1	2020 /2	2020 /3	2020 /4	2020 /5	2020 /6	2020 /7	2020 /8	2020 /9	2020 /10	2020 /11	2020 /12	2021 /1	2021 /2	2021 /3	2021 /4	2021 /5	合計
iOS	85	56	32	16	9	10	16	9	6	16	11	10	9	3	10	11	10	1885
Android	13	18	2	3	1	5	3	3	2	6	5	4	2	3	4	1	5	521

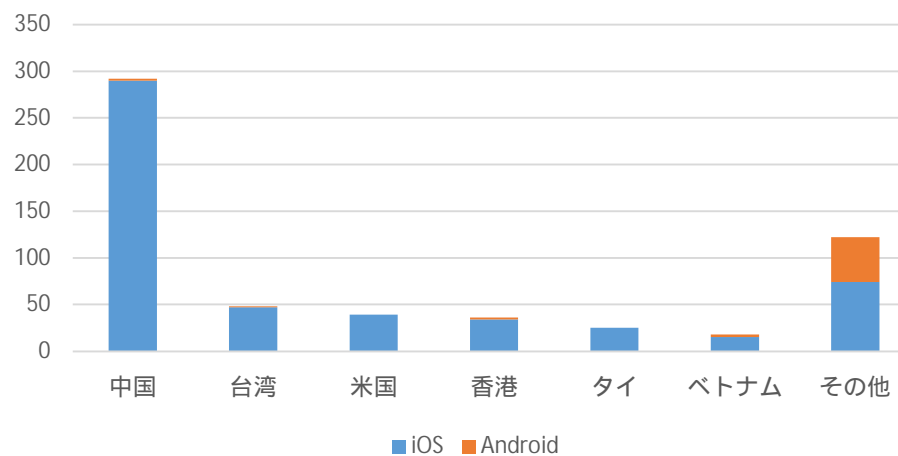
## 2. 利用状況分析

### (1) アプリのダウンロード状況 :

#### ■ 国別 / OS 別 (2018/2 ~ 2021/5)

– 2019年9月より中国本土でのダウンロードが、始まりました。

国別 / OS 別ダウンロード数

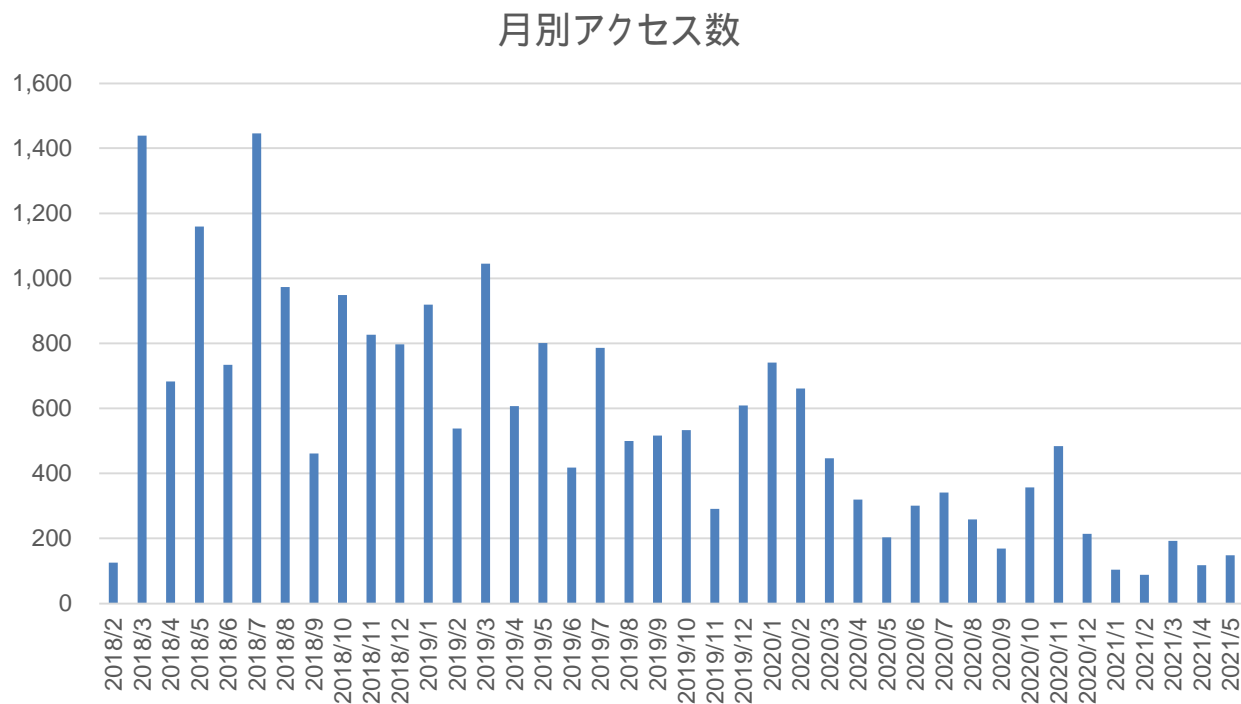


	中国	台湾	米国	香港	タイ	ベトナム	その他	日本	合計
iOS	290	47	39	34	25	15	74	1361	1885
Android	2	1	0	2	0	3	48	465	521

## 2. 利用状況分析

### (2) アクセス状況 :

#### ■ 月別アクセス状況(2018/2 ~ 2021/5)



年月	総アクセス数
2018/2	125
2018/3	1,439
2018/4	683
2018/5	1,159
2018/6	734
2018/7	1,446
2018/8	973
2018/9	461
2018/10	948
2018/11	826
2018/12	797
2019/1	919
2019/2	538
2019/3	1,045
2019/4	607
2019/5	801
2019/6	418
2019/7	786
2019/8	499
2019/9	516
2019/10	533
2019/11	291
2019/12	609
2020/1	741
2020/2	661
2020/3	446
2020/4	319
2020/5	203
2020/6	300
2020/7	341
2020/8	258
2020/9	168
2020/10	357
2020/11	484
2020/12	214
2021/1	103
2021/2	88
2021/3	192
2021/4	117
2021/5	148
合計	22,293

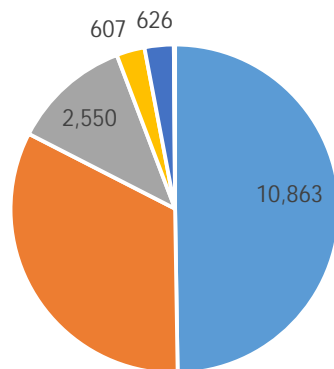
## 2. 利用状況分析

### (2) アクセス状況 :

#### ■ 言語別 (2018/2 ~ 2021/2)

- 言語別の総アクセス数(累計)は、英語が約半数で、続いて、日本語、中国語簡体字の順でした。言語は、スマホの言語設定の他、アプリ上でも、言語切り替えができるようになっていきます。

言語別アクセス数



■ 英語 ■ 日本語 ■ 中国語簡体字 ■ 中国語繁体字 ■ 韓国語 ■ 不明

言語	アクセス数	前年アクセス数
英語	10,863	9,434
日本語	7,164	5,610
中国語簡体字	2,550	2,365
中国語繁体字	607	571
韓国語	626	564
不明	26	22
合計	21,836	18,566



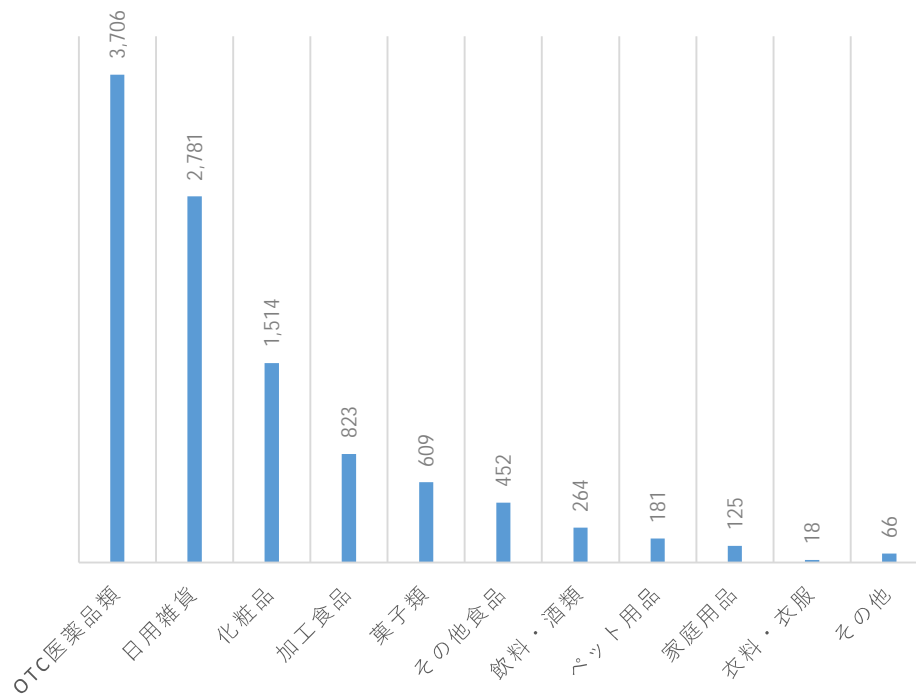
## 2. 利用状況分析

### (3) ヒットアクセス状況：

#### ■ カテゴリー別 (2018/2 ~ 2021/2)

- ヒットしたアクセス数 (累計) のうち、最も多かったカテゴリーは、「OTC医薬品」「日用雑貨」で、「化粧品」「加工食品」「菓子類」も、続いて多くアクセスされました。

カテゴリー別ヒットアクセス数



商品カテゴリー	ヒットアクセス数	前年ヒットアクセス数
OTC医薬品類	3,706	3,499
日用雑貨	2,781	2,368
化粧品	1,514	1,404
加工食品	823	691
菓子類	609	565
その他食品	452	257
飲料・酒類	264	210
ペット用品	181	165
家庭用品	125	108
衣料・衣服	18	18
その他	66	39
合計	10,539	9,324

### 3. これまでの総括

---

- 基本商品情報は、昨年1年間で約2倍となりましたが、訪日外客に購入されるOTC医薬品や日用品、菓子、食品などの増加率は少なく、これら以外の商品の増加が寄与した結果でした。
- 追加商品情報は、会員企業数が全く伸びず、横ばいでした。「積極的に参加する」「前向きに参加する」という企業が50社以上あり、目標を500社とし発足したプロジェクトでしたが、5年経過して11社しか参加しておりません。
- そのため、運用に必要な経費は、まかなえておりません。
- アプリのダウンロード数 / 商品のスキャン数に関しては、既に実績のあるアプリとの提携によることを目指していましたが実現できず、一部のアプリ (QR Translatorなど)との提携に留まっているため、伸びませんでした。 QR Translatorなどは、多言語商品情報の専用アプリではないため提携の効果は、限定的です。
- 中国人KOL (フォロワー:約221万人)による独自のプロモーションも、効果は限定的で、訪日外客によるダウンロード数はわずかな状況です。
- そして、コロナ禍による訪日外客の減少により、先の見えない状況に至っております。

### 3. これまでの総括

#### 2020年度 多言語商品情報プロジェクト全体会議を受けて (1)

---

#### ■ 2020年度全体会議

第1回:2021年3月22日

第2回:2021年6月21日

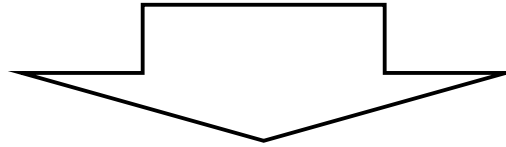
#### < 主なご意見 >

- (会員数が増えないのは、)基本情報は協調領域だが、詳細情報は競争領域だったという事ではないか。
- (Mulpiのダウンロード数、スキャン数が少ないのは、)Mulpiが、(基本情報のみで、)訪日外客の求めている情報を提供できていないためかという評価視点も必要ではないか。
- (既に実績のあるアプリとの連携が出来なかったことや、コロナ禍による訪日外客の減少など、)環境は大きく変わっているので、全体の見直しが必要ではないか。
- Mulpiに関しては、維持が難しいのであれば、立ち止まってもよいが、一度止めてしまうと、改めて立ち上げるのは難しい。
- メーカー発信の正しい情報(基本情報)を収集する取り組みは、続けて欲しい。

### 3. これまでの総括

#### 2020年度 多言語商品情報プロジェクト全体会議を受けて (2)

---



#### < 今後の方針 >

- Mulpiの運用に関しては、2022年3月をもって終了としたい。
  - Mulpiのプロモーションについては2021年度中は継続。
  - 多言語対応協議会小売りプロジェクトとの連携は2021年度中は継続。
  
- 2015年度「商品情報多言語化の基本的な考え方」は継続。
  - 次頁「製・配・販の役割分担」については、引き続き行う。
  - GJDB内で各社ホームページの多言語商品情報URLの登録が行える。
  
- 2013年度「第3WG ～商品情報授受の効率化に向けて～」の検討内容は継続。
  - 業界データベースと連携した基本情報の収集は引き続き行う。

## < 参考 > 2015年度 商品情報多言語ワーキンググループの活動報告

### ■ 2015年度「商品情報多言語化の基本的な考え方」より

#### 4. 製・配・販の役割分担

##### ■ 商品メーカーの役割

- 業界データベースへの正しい商品情報・画像のタイムリーな登録
- さらに、各社ホームページで、商品情報の多言語化を推奨する

##### ■ 卸売業役割

- 商品メーカーへの業界データベースへの商品情報登録の働きかけ

##### ■ 小売業の役割

- 訪日外国人旅行者／在日外国人の対応

- 増え続ける訪日外国人旅行者に対し、不満のない買物環境を提供するためには、オール・ジャパンでの取り組みが必要である。
- その一つとして、商品情報の多言語化は、幅広い商品の中から、日本の商品を正しく選択し、購入して頂くためにも重要な取り組みである。
- 製・配・販事業者は、それぞれの立場から取り組みつつ、連携した取り組みに対しても協力し合うことが望まれる。

[https://www.dsri.jp/forum/pdf/forum2016\\_32.pdf](https://www.dsri.jp/forum/pdf/forum2016_32.pdf)



- 原点に立ち返り、各社ホームページでの商品情報の多言語化を推奨。

## < 参考 > 2013年度 第3WG ～商品情報授受の効率化に向けて～

### ■ 2013年度「第3WG ～商品情報授受の効率化に向けて～」より

#### 報告の構成

1. はじめに
  - (1) 検討の経緯
  - (2) ワーキングの目的
2. 商品情報授受の現状と課題
  - (1) 商品マスタ情報
  - (2) 商品画像情報
  - (3) 商品品質系情報
3. 商品情報授受の課題解決の方向性
  - (1) 商品マスタ情報
  - (2) 商品画像情報
  - (3) 商品品質系情報
4. 商品情報授受の今後の検討課題
  - (1) 商品マスタ情報
  - (2) 商品画像情報
  - (3) 商品品質系情報
5. 参考資料

(C)2014一般財団法人流通シ



2014年7月4日(金)

製・配・販連携協議会  
第3ワーキンググループ

(作成：一般財団法人流通システム開発センター)

<https://www.dsri.jp/forum/pdf/2014wg3.pdf>

### ■ 検討内容に沿って、既存の関係者と協力して取り組みを継続。

## < 参考 > 2020年度 多言語商品情報プロジェクト全体会議メンバー (1)

### 多言語商品情報プロジェクト全体会議

社名	役職	氏名
味の素(株)	食品事業本部 物流企画部スタッフグループ・マネージャー	長濱 賢治
	食品事業本部 マニュファクチャリング部SCMグループ・シニアマネージャー	武田 建
	食品事業本部 物流企画部物流グループ	渡邊 香織
花王グループカスタマーマーケティング(株)	RMI部門 部長	須賀 慎一
キュービー(株)	家庭用本部調味料部 部長	向野 武彦
	ロジスティクス本部戦略企画部 部長	田中 武治
キリンホールディングス(株)	情報戦略部 主幹	石川 雅子
	情報戦略部	井戸 健太郎
第一三共ヘルスケア(株)	経営企画部 広報グループ 主幹	浮田 謙二
大正製薬(株)	フィールド業務推進部	竹下 佳徳
ハウス食品グループ本社(株)	広報・IR部専門課長	堀井 志郎
ユニ・チャーム(株)	グローバルマーケティングコミュニケーション本部 eUC推進部 部長代理	岡村 達憲
ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング(株)	ITマネージャー ビジネスパートナー	古賀 祐己
ライオン(株)	流通政策部 副主任部員	野村 有広
伊藤忠食品(株)	商品本部本部長代行	樋上 佳秀
加藤産業(株)	営業企画部 次長	里中 周
イオン(株)	秘書室渉外グループ	宮川 亜貴夫
(株)イズミ	営業企画部 部長	田中 寿喜
(株)サンドラッグ	社長室長	加田 敏
(株)セブン・イレブン・ジャパン	オペレーションサポート部 オペレーション企画	深井 伸太郎
(株)ファミリーマート	商品・マーケティング本部 商品業務部 部長	井上 博之
	商品・マーケティング本部 商品業務部 商品売場戦略グループ マネージャー	鍵浦 信
(株)マツモトキヨシホールディングス	IT統括部長	和知 義仁

## < 参考 > 2020年度 多言語商品情報プロジェクト全体会議メンバー (2)

### 多言語商品情報プロジェクト全体会議

社名	役職	氏名
< オブザーバー >		
(株)ジャパン・インフォレックス	専務取締役 管理部長兼営業企画部長	八十島 幹夫
	執行役員 総合企画部 担当部長	牧内 孝文
セルフメディケーション・データベースセンター	専務理事	小田 武秀
(株)プラネット	代表取締役社長	田上 正勝
	執行役員 イノベーション推進部 部長	今村 佳嗣
	イノベーション推進部 チーフプランナー	志賀野 芳宏
< 事務局 >		
経済産業省	消費・流通政策課 課長補佐(企業・調査)	久保田 倫生
経済産業省	消費・流通政策課 係長	船越 愛
(公財)流通経済研究所	専務理事	加藤 弘貴
(一財)流通システム開発センター	理事	西山 智章
(一財)流通システム開発センター	コード管理部 次長	上田 俊秀
(一財)流通システム開発センター	データバンクビジネスグループ長	森谷 麗子
(一財)流通システム開発センター	コード管理部 研究員	谷 菜津美